2電源 HEECS 三相インバータによる高効率モータ駆動

那須 祥生* Hadi Setiadi 味口 泰彦 小原 秀嶺 河村 篤男(横浜国立大学)

High Efficiency Three-Phase Inverter for Motor Drive using HEECS Chopper Yoshiki Nasu*, Hadi Setiadi, Yasuhiko Miguchi, Hidemine Obara, Atsuo Kawamura, (Yokohama National University)

This paper presents a high conversion-efficiency three-phase inverter used as a motor drive. The inverter consists of three HEECS choppers and two batteries as the dc sources. From the results of the experiment, a conversion efficiency of up to 99.5% was measured.

キーワード:高効率,三相インバータ,モータ駆動,マルチレベルインバータ **Keywords**: High efficiency, three-phase inverter, motor drive, multilevel inverter

1. はじめに

ワイドギャップパワー半導体デバイスの出現により、マ ルチレベル回路方式の高効率なインバータ動作の報告例が 出現してきた⁽¹⁻⁶⁾。(1-4)では出力は電力系統へ接続されるこ とを想定して出力波形はひずみの少ない正弦波であるが、 (5,6)は PWM 波形によるモータ駆動である。著者らは、マル チレベルの直流電圧を不均一にすることにより 99.7%を超 える高効率な単相インバータ(HEECS インバータ(High efficiency Energy Conversion System))を報告した⁽³⁾。この回路 方式は単相であり、しかも系統連系用なのでLCフィルタを 含んでいる。本論文では、これをモータ駆動用三相インバー タへ発展させたものを報告する。

提案回路は、2電源 HEECS 三相インバータと呼ばれ、高効 率2電源 HEECS 単相インバータ⁽³⁾を構成しているマルチレ ベル高効率降圧チョッパ(HEECS チョッパと呼ばれる)を3 台用いた三相インバータの構成となっている。この新しい 回路トポロジーは新回路であり、高効率が期待できるので、 モータ負荷に接続して効率を実験で測定した。2章では、単 相 HEECS インバータを概説し、3章では提案三相インバー タを示し、4章では各種実験結果を報告する、5章は2電源 HEECS 単相インバータとの比較考察で、6章が結論となって いる。

2. 2 電源 HEECS チョッパ の動作

図1に2電源単相 HEECS インバータの回路図とその典型 的な波形を示す⁽³⁾。このチョッパ部だけを拡大して,回路図 と動作モードを示したものが,図2である。2電源 HEECS チョッパは $E_1 \ge E_2$ の2つの電源を入力に持つ高効率な降圧 チョッパであり,図2に示される3つの動作モードで電圧 を出力する。

3. 新提案回路:三相電圧形 HEECS インバータ⁽⁷⁾

提案する三相インバータは図3のようにHEECS チョッパ を3レグ接続した回路構成である。図4のように各レグの 相電圧指令を、ゼロをクロスしないDCオフセットのついた 正弦波とし、各レグの指令値の位相を120°ずつずらすこと により三相の線間電圧を得る。既存のHEECS インバータの 変調方式⁽³⁾を改良すれば、そのまま使える。



図 1-a 2 電源 HEECS 単相インバータ Fig. 1-a Two battery HEECS inverter.

PE-22-049 PSE-22-069 SPC-22-097











図 3 2 電源 HEECS 三相インバータ Fig.3 Configuration of HEECS 3-phase Inverter



Fig.4 Waveform of 2 battery HEECS 3-phase Inverter

4. 実験

本節では提案するインバータを用いた誘導機駆動実験に ついて説明する。DSP をコントローラとして用い,文献⁽³⁾ の装置を用いた。実験における回路定数を表1に示す。図3 に示す純抵抗負荷実験回路からLCフィルタを除去し,負荷 を汎用三相かご型誘導機とした場合の実験結果について示 す。以下では,誘導機駆動時のインバータ損失について測定 した。効率の測定にはインバータの入力電力と出力電力の 差を用いて計算する直接法⁽³⁾を用いた。電力測定機器として PW6001(HIOKI)を用いた。

4-1 三相誘導電動機の駆動

実験回路構成を図5 に示す。誘導機に永久磁石同期モータ を直結し、同期モータで発電された電力を電子負荷で熱と して放出する。電子負荷のパラメータを調整することで、回 転負荷の調整を行う。モータ駆動実験では、文献(8)の抵抗負 荷実験の結果から E1=E2のときの効率が最も良かったこと と、定格電圧が三相200Vのモータを使用しているため抵抗 負荷実験よりも電源電圧を下げ, E1=E2=175 V とした。モ ータは V/f 一定のオープンループ制御で駆動した。50Hz, 200 V, モータ入力電力 1500 W 時のモータ端子間電圧を図6に, 線電流を図7に示す。図6、図7より、このインバータがモ ータ駆動用の三相インバータとして動作していることが確 認できる。図8 に三相 200 V, 50Hz の PWM 出力をモータに 印加し, PWM キャリア周波数を 20 kHz から 14 kHz まで変 化させたときのインバータの電力変換効率を示す。キャリ ア周波数 20 kHz 時においても,最大 99.5%以上の変換効率 を測定した。

4-2 汎用インバータとの比較実験

IGBT を用いた市販の汎用インバータに対する優位性を 確認するため,汎用インバータについても同様の効率測定 実験を行った。実験には三菱電機製定格 2.2 kW インバータ (FR-D720-2.2K)を用いた。汎用インバータの効率測定は、フ ルブリッジダイオードモジュールの出力部分を入力電力、 モータ接続用端子部分を出力電力として効率を測定した。

PE-22-049 PSE-22-069 SPC-22-097

なおこの測定方法は汎用インバータの平滑コンデンサの損 失を含むことに注意する。図9にキャリア周波数14kHzと し、モータ無負荷状態から回転負荷を増大させたときの汎 用インバータと HEECS インバータの電力変換効率を示す。 測定した電力帯ではHEECS インバータの変換効率が汎用イ ンバータの変換効率を上回っていることが観察できる。特 に、モータ無負荷に近い低負荷領域では汎用インバータの 変換効率が90%を下回ったのに対し、HEECS インバータで は98%以上を維持しており、高い優位性が確認できる。



図 5 提案インバータによる誘導機駆動 Fig.5 IM drive with proposed inverter

衣I	実験ハフメータ
Table	1 Circuit narameters

F		
Parameters	Value	
S1~S4	SCT3017AL (Rohm)	
Dead Time	200 ns	
E_I	175 V	
E_2	175 V	
IM	(VTFO-LK 4P 1.5KW) (HITACHI)	
PMM	MM-CF352 (MITSUBISHI)	







Fig.7 Experimental waveform of current (Pout = 1.5 kW, IM drive)



Fig.8 Measured efficiency of proposed inverter (IM drive, direct method)

PE-22-049 PSE-22-069 SPC-22-097

5. 2 電源 HEECS 単相インバータとの比較考察

提案する三相インバータは2電源 HEECS 単相インバータ ⁽³⁾のチョッパ部を利用したインバータであるが、様々な相 違点がある。提案三相インバータの優位点として、図1のよ うな折り返しインバータ回路がないので、負荷力率を選ば ず動作し、モータ駆動の場合ではLCフィルタの省略も可能 である。一方、単相インバータと比較して直流電圧利用率が 劣るため、同一出力においては電流が増加し導通損の増大 が発生する。また、もしもLCフィルタを用いた場合、HEECS 単相インバータはLに一方向の電流しか流れないのに対し、 提案インバータの場合はLに電流が双方向に流れるため、L のヒステリシス損の増大を招く。そのような理由により、共 通の回路構成を持ちながらも、効率改善には異なる最適化 が必要である。

6. まとめ

本稿では、高効率な2電源 HEECS チョッパを用いた三相 HEECS インバータ回路を提案し、その効率特性を、誘導機 駆動実験を行うことにより調査した。さらに既存の汎用イ ンバータとの比較実験も行った。モータ駆動実験の結果か ら1.5kW~2 kW の負荷で99.5%以上の高い変換効率を測定 した。提案インバータを用いることにより高効率三相電力 変換が可能となり、省エネに貢献できると考えられる。精 度の高い測定^のや、さらなる高効率化や変調方式の変更につ いては現在検討中である。なお、数 kW 出力の小容量三相イ ンバータの高効率化は、空調機器や電気自動車(EV)の軽負 荷時の省エネの研究に寄与するとも考えられる。



Fig.9 Measured efficiency of proposed inverter and general purpose inverter (IM drive, direct method, fs=14 kHz)



図 A 実験に用いた誘導機と PM モータ Fig.A IM and PMM at experiment



図 B 実験に用いた HEECS チョッパ(u 相レグ) Fig.B HEECS chopper(u-phase leg)



文

- J. A. Anderson, E.J. Hanak, L. Schrittwieser, M. Guacci, J.W. Kolar, G. Deboy: "All-Silicon 99.35% Efficiency Three Phase Seven 3-Level Hybrid Neutral Point Clamped Flying Capacitor Inverter", CPSS Trans. On Power Electronics and Applications, Vol. 4, No. 1, pp. 50-61 (2019)
- (2) Y. Shi, H.Li, L. Wang, Y. Zhang: "Intercell Transformer (ICT) Design Optimization and Interphase Crosstalk Mitigation of a 100-kW SiC Filter-Less Grid-Connected PV String Inverter", IEEE Open Journal of Power Electronics, Vol. 1, pp. 51-63 (2020)
- (3) A. Kawamura, S. Nakazaki, S. Ito, S. Nagai, H. Obara: "Over 99.7% Efficiency Two Battery HEECS Inverter at 2.2kW Output and Measurement Accuracy Based on Loss Breakdown", IEEJ Journal of Industry Applications, Vol. 9, No. 6, pp. 663-673 (2020)
- (4) N. Kim, M. Biglarbegian, B. Parkhideh: "Flexible High Efficiency Battery-Ready PV Inverter for Rooftop System", APEC2018, pp. 3244-3249 (2018)

- J. Zhu,H.Kim, H. Chen, R. Erickson, D. Moksimovic: "High efficiency SiC Traction Inverter for Electric Vehicle Applications", pp. 1428-1433, APEC2018 (2018)
- (6) J. Rabkowski, D. Peftitsis, H. Nee: "Design Steps Towards a 40-kVA SiC Inverter with an Efficiency Exceeding 99.5%", APEC2012 (2012)
- (7) 那須祥生・中崎智志・小原秀嶺・河村篤男, "HEECSインバータによる
 三相モータ駆動のための基礎検討", 電気学会全国大会4-050, p.84, 2020
 年3月
- (8) 那須祥生,味口泰彦,H.Setiadi,小原秀嶺,河村篤男,"2電源HEECS チョッパを利用した高効率三相インバータの実機検証",電気学会産業応 用部門大会1-36,長岡,2021
- (9) A. Kawamura, Y. Nasu, Y. Miguchi, H. Setiadi, H. Obara, "Proposal of Virtual Transformer-based Back-to-Back Asynchronous Loss Measurement using a Single Set of Measurement Instruments for One Inverter and Experimental Verification", IEEJ JIA, Vol.11, No.1, pp.175-184, 2022